

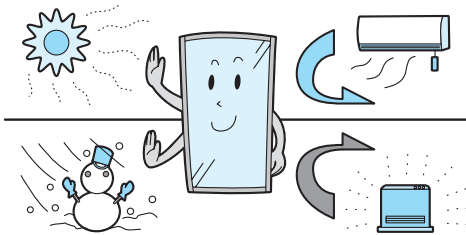
断熱性能について

■断熱性能とは

サッシを通して流れる熱の量を示し、内側と外側の温度差が20°Cの状態です。サッシから伝導する熱量から熱貫流抵抗(R)を算出し、JISで定義する等級で表わします。

サッシの断熱性能はサッシ自体・枠と障子のすき間・ガラス面などの3要素が関係あり、等級が高いほど断熱性能が高いこととなります。H-1、H-2、H-3、H-4、H-5の順に断熱性能が高くなります。

夏



冬

熱は温度の高い方から低い方に流れる特性を持っており、熱貫流率とは内外の温度差が1°Cの時、サッシ1㎡あたり1時間に何calの熱が流れるかを表した数値です。

また、熱貫流抵抗は、熱貫流率の逆数(1/熱貫流率)で、熱の流れにくさを表しています。

熱貫流率は小さいほど、熱貫流抵抗は大きいほど、断熱性能に優れているということになります。

■断熱性能の基準

JISによる基準以外に国土交通省による告示があります。

住宅に求められる断熱性能はそれらの基準に基づき住宅金融支援機構の基準金利適合条件や割増融資条件、その他の融資制度などに適合する断熱性能として地域ごとに設定されています。

JISグレード(JIS A 4706・4702)

等級	熱貫流抵抗	参考熱貫流率
H-1	0.215	4.65W/(m ² ·K)以下 [4.0kcal/(m ² ·h·°C)以下]
H-2	0.246	4.07W/(m ² ·K)以下 [3.5kcal/(m ² ·h·°C)以下]
H-3	0.287	3.49W/(m ² ·K)以下 [3.0kcal/(m ² ·h·°C)以下]
H-4	0.344	2.91W/(m ² ·K)以下 [2.5kcal/(m ² ·h·°C)以下]
H-5	0.430	2.33W/(m ² ·K)以下 [2.0kcal/(m ² ·h·°C)以下]